10月　大井幼稚園の生活・遊びをご紹介

幼児期に育てたい10の姿」に照らし合わせて，育ちを紹介します！！

① 健康な心と体　② 自立心　③ 協同性　④ 道徳性・規範意識の芽生
⑤ 社会生活との関わり　⑥ 思考力の芽生え　⑦ 自然との関わり・生命尊重
⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚　⑨ 言葉による伝え合い　⑩ 豊かな感性と表現

芸術の秋 ⑩豊かな感性と表現

子どもたちは自分が経験したことをいろいろな方法で表現することを喜びます。表現の方法の一つに「絵」を描くことが挙げられます。

１０月に入って，運動会の絵と遠足の絵を描きました。描く前には，十分に経験したことを思い浮かべられるように，話をしたり，写真を見たりしました。描きたい気持ちが膨らむと，どんどん画用紙が埋まっていきました。それぞれの感性を大事にし，表現する楽しさをしっかり感じてほしいです。

また，今の時期ならではの子どものかわいい表現の仕方をおうちの方も楽しんでいただきたいと思います。

１１月には大井地区文化祭があります。現在はそれに向けて，いろいろな作品づくりに取り組んでいます。製作遊びの中で様々な表現技法に挑戦しています。また，落ち葉を取り入れて，秋の自然に触れながら製作に取り組んでいます。文化祭の展示に向けて引き続き製作遊びを楽しんでいこうと思います。

この色は〇〇ちゃんが持っていたよ。
となりは僕がいたかな。体も頑張って描いたよ。

じいじ・ばばと玉入れ楽しかったよ。

一発で成功したボール当て！

年長児は体の動きや表情にもこだわって描きました。

遠足で貝殻拾いをしたよ。楽しかったこと嬉しかったことを描いたよ。

園庭のケヤキの落ち葉を集めたよ！

色々な形や大きさの葉っぱ！

落ち葉を並べて，霧吹きシュッシュ！

きれいに葉っぱの型ができた！！

ダイナミックにぬりぬり♪

コーヒーフィルターで落ち葉を表現するよ。
本物の落ち葉と同じような色合いを出そうとする年長児。

きれいな色合いの落ち葉ができたよ。

絵具がじわじわ広がっていく～。

食欲の秋 ①健康な心と体　作物の収穫では⑦自然との関わり・生命尊重

４月の頃と比べると，給食・弁当の食べる量が増えてきています。実りの秋で，食欲もわいてきますね！食べられるようになったことやおかわりをしたことで自信をもつようになった友達もいます。また，体重測定で大きくなっていることを喜んでいる姿も見られています。

給食の時はマナーにも気を付けています。繰り返し伝えることで，自分で気をつけられるようになっている友達もいます。友達同士で声を掛け合いマナーを守ろうとする姿も見られています。

まだまだ，声掛けが必要ですが，左手は机の下にあり，お皿を持たずに食べていた友達も繰り返し声掛けをすることで，自分でお皿を持って食べる姿が見られるようになりました。幼稚園では，床に足の裏をつけること・肘を机につかないこと・お皿に手を添えたり，持ったりすることを中心に伝えています。また，食べこぼしがあった時も自分で後片付けすることが身に付いています。(気をつけることは，５月の学級懇談で配付した「大井幼稚園の生活」に記載しています。)

先日は，サツマイモ・お米・落花生を収穫しました。「早く食べたい！」と今から子どもたちはとても楽しみにしています。収穫を通して自然との関わりもたくさんできています。

床に足の裏がピタッとついていますよ！

年長児は食べる量が増えてきました！

三角食べを意識している友達もいます！

この日はおにぎり🙆

大きな口で！！
もりもり食べます。

ご飯粒残ってないよ！
ぴっかりしているか自分でチェック！！

読書の秋 ⑨言葉による伝え合い

子どもたちは絵本が大好きです。幼稚園でも毎週金曜日に絵本を貸し出ししています。ご家庭でも読み聞かせをしていただき，ありがとうございます。借りる絵本の他にも，帰りの会で先生に読んでもらったり，読み聞かせボランティアの方に読んでもらったり，ちょっとした合間に自分で楽しんだりしています。絵本を見たり聞いたりしながら，自分の経験と結び付けたり，実際には経験できないことを主人公になりきり想像したり，表現したりすることを楽しみます。

幼稚園では，みんなで絵本を見ることで，同じ世界を共有する楽しさや心を通わせる一体感などを感じます。絵本を見て，登場人物の思いを想像することは，人の気持ちを想像することにもつながります。さらに，絵本には日常ではあまり使わないような言葉も出てきます。おもしろい言葉・美しい言葉・方言などに触れる機会にもなっています。絵本は子どもたちの世界を広げてくれる素敵なものですね！

読み聞かせの日が大好きなみんな。

おもしろい絵本を選んできてくださっています。

まったり絵本タイム♪

たくさんある絵本の中からお気に入りを探します。

おもしろいページを発見すると友達に知らせる姿も！

みんなで遊びを決めている時のエピソード ④道徳性・規範意識の芽生え

毎日，みんなで何をして遊ぶか相談しています。いろいろな遊びが出た場合は，話し合いをしたり，ジャンケンをしたりして決めています。

この日も，ケイドロとサッカーの２つの遊びが出ました。時間の都合で１つの遊びしかできなかったので，ジャンケンをして決めていました。ジャンケンをして勝ったのは，ケイドロをしたい幼児たちでした。ケイドロの用意をして，始めようとしたら，サッカーがしたかったＡ児が，しゃがんで俯いていました。教師は周りの友達が気付けるように，声をかけるとすぐにＡ児の周りに，心配した友達が集まってきました。

Ａ児「・・・・」　　Ｂ児「どうしたの。サッカーがしたかったの？」

Ｂ児は，しゃがんで目線を合わせ，Ａ児の気持ちを考えて，優しく話しかけました。

Ａ児「・・・」(無言でうなづく)　　Ｃ児「僕は，サッカーしてもいいよ。」

Ｃ児は，Ａ児がかわいそうと思って自分の意見を変えてあげていました。Ｃ児の気持ちは優しくて素敵だなと思いました。でも，本当にジャンケンで決めていいのかを確認して，みんな納得したはずでした。Ａ児にとって，自分の気持ちに折り合いをつけることも大切だなと思いました。

教師「でも，ジャンケンで決めていいってみんな言ったよね。せっかく勝てたのにケイドロをしなくていいの？」

Ｃ児「・・・じゃあ，サッカー明日してもいいよ。」　　Ｂ児「今日はケイドロをみんなでして，明日みんなでサッカーをしよう。」

Ａ児の元気が出るように，みんなとても優しい声で言っていました。しばらくして・・・

Ａ児「・・・みんな，明日サッカーしてもいい？」

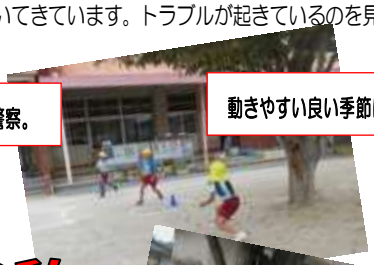
Ａ児は友達に気持ちを受けとめてもらったり，優しい言葉をかけてもらったりしたことで，気持ちに折り合いをつけることができたのだと思います，その後はみんなと一緒にケイドロを楽しむことができました。そして，次の日には，約束通りみんなでサッカーをしている姿が見られました。

幼児たちは，泣いている友達に優しくしようという気持ちをもっています。とても良いことです。しかし，泣いている人がかわいそうで，相手(泣かした人)が悪いということばかりではありません。悪い人を探して「謝ったら解決」ではなく，自分の気持ちを相手に伝えることを大切にしながら話しをしていきます。また，相手の気持ちを知ることも大事です。中には，自分の思い通りにいかないこともありますが，気持ちに折り合いをつけていくことも大切です。

遊びの中で友達と関わりながら，気持ちを伝えようとする力や相手の気持ちを考える力が身に付いてきています。トラブルが起きているのを見つけると「ちょっと行ってくる」と友達の話を聞きに行く頼もしい姿も見られるようになってきています。

おにきめ，おにきめ～♪

ケイドロでは年長児に負けない良い動きをする桃赤警察。



動きやすい良い季節になりました！！

スポーツの秋

ルールを確認しながら，みんなで楽しむよ！

相手チームにボールを渡さないぞ！という気持ち。